

## いっしょに

今回は漢字の話でしたが、今回はことわざについてご紹介します。まずはクイズから。

秋の空模様がよく変わるように、飽きやすく変わりやすいことを例えています。○に入る言葉は何でしょう？

## ○心と秋の空

答えは「男」「女」のどちらも正解です。

元々は「男心と秋の空」でした。江戸時代、既婚女性の浮気は命を落とすほどの重罪であったのに対し、既婚男性の浮気については寛容で、移り気なのは男性であったことからできたことわざだといわれています。

それでは「女心と秋の空」はいつ頃できたことわざなのでしょう？所変わってイギリスでは、冬の風は強くなったり、弱くなったり変わりやすいことから、「A woman's mind and winterwind change often

(女心と冬の風はよく変わる)」という言葉があります。こうした外国語の文化が入ってきたことや女性の地位が向上してきたことが影響して「女心と秋の空」が使われるようになったといわれています。

今では「女心と秋の空」の方がもっぱら使われていますが、男性から見れば「女心」の方が女性から見れば「男心」の方が変わりやすいと感じているのではないのでしょうか。

その他にも男女に関することわざは数多くあります。ことわざの多くは長い歴史の生活体験の中で生み出されたもので、その当時の時代背景や社会情勢を反映したものとなっていることから、男性優位社会を表しているものや女性を特別視するものもありません。現在、全国的に男女共同参画の実現に向けて取り組みを進めています。それが実現に近づく頃には、男女に関する新たなことわざが生まれているかもしれません。

## 国保が守るみんなの健康

市民課保険年金係 (内線130~134)

今回は、高額療養費についてご紹介します。

## ■高額療養費制度とは

重い病気などで長期間入院したり、治療が長引いたりした場合には医療費の自己負担分が高額になります。そのようなときに家計の負担を軽減するため、同じ月に支払った医療費(※)のうち一定の額(自己負担限度額)を超えた金額が支給される制度です。

※入院時の食費負担や差額ベッド代、保険適用外の診療などは対象になりません。

## ■自己負担限度額

年齢や所得(個人・世帯)により異なります。また、同一世帯の人の自己負担分と合算する場合や、高額療養費支給が多数回になる場合も自己負担限度額が変わります。詳しくは問い合わせください。

## ■申請方法

自己負担限度額を超え高額療養費支給の対象となった月の翌々月の下旬に、お知らせのはがきを郵送します。はがきに記載されたものを持って市民課保険年金係で手続きしてください。

※申請の際に医療費の領収書が必要です。なくさないように保管してください。

